

ロタウイルスワクチン定期予防接種のご案内

予防接種法に基づく定期予防接種を実施します。予防接種はお子さんを病気から守るため、また周りへの感染症の拡大を防ぐために必要なものです。予防接種の目的や内容をよく理解した上で、お子さんの体調の良いときに受けましょう。

- ① **対象月齢** 出生6週0日後～
- ② **接種時期・回数** ワクチンによって回数異なります。

ワクチン名	ロタリックス	ロタテック
接種時期	出生6週0日後から24週0日後	出生6週0日後から32週0日後
	※標準的な接種時期として、どちらのワクチンも、初回接種を、生後2か月から出生14週6日後までにします。	
接種回数	2回接種（27日以上の間隔をあける）	3回接種（27日以上の間隔をあける）
接種後、特に注意する事	どちらのワクチンも、接種後（特に1～2週間）は腸重積症（後述）の症状に注意し、症状が見られた際には、すみやかに接種した医療機関を受診してください。	

※出生〇日後、出生〇週●日後は、出生日の翌日を1日後として算出。

出生6週0日後とは、生まれてから6回目の同じ曜日。出生32週0日後とは、生まれてから32回目の同じ曜日。

出生14週6日後とは、生まれてから15回目の同じ曜日の1日前を示します。

③ ロタウイルス胃腸炎とは

口から侵入したロタウイルスが腸管に感染して発症します。感染力が非常に強く、手洗いや消毒などをしっかりしても、感染予防をすることが難しいため、乳幼児のうちにほとんどの子どもが感染します。下痢や嘔吐は1週間程度で治りますが、下痢・嘔吐が激しくなると脱水症状を起こす場合もあります。乳幼児の急性胃腸炎の入院の中で、もっとも多い感染症です。一生のうちに何度も感染するウイルスですが、初めてロタウイルスに感染した時は特に重症化しやすく、まれに脳や腎臓に影響をおよぼすこともあるため、注意が必要です。生後すぐに感染する場合もあるので、ワクチンの接種は、早い時期に完了させます。

④ ワクチンについて

ロタウイルスワクチンは2種類あり、どちらも生ワクチン（弱毒化したウイルス）で、飲むワクチンです。2種類とも、予防効果や安全性に差はありませんが、接種回数が異なります。他のワクチンとの接種スケジュールなどを考慮して、どちらかのワクチンを選んでください。医療機関ごとに取り扱うワクチンが異なるため、予約の際にワクチンの種類を確認するようにしてください。

途中からワクチンの種類を変更することはできません。最初に接種したワクチンを2回目以降も接種します。異なるワクチンを接種した場合、やむを得ない事情があると市が認める場合を除き、定期接種の対象外（自費）となります。

このワクチンは、ロタウイルス胃腸炎の発症そのものを7～8割減らし、入院するような重症化はそのほとんどが予防できます。ただし、ロタウイルス以外の原因による胃腸炎には予防効果を示しません。

裏面をご覧ください

⑤ ワクチンを接種する前に注意すること

赤ちゃんのお腹がいっぱいと、上手にワクチンが飲めない場合がありますので、接種前30分ほどは授乳を控えるようにしてください。上手に飲めるよう、医師、看護師の指示に従ってください。

ワクチンをうまく飲めなかったり、吐いてしまったりしても、わずかでも飲み込みが確認できていれば、ワクチンの効果に問題ありませんので、再度接種（費用自己負担）する必要はありません。

⑥ ワクチンを接種した後に注意すること

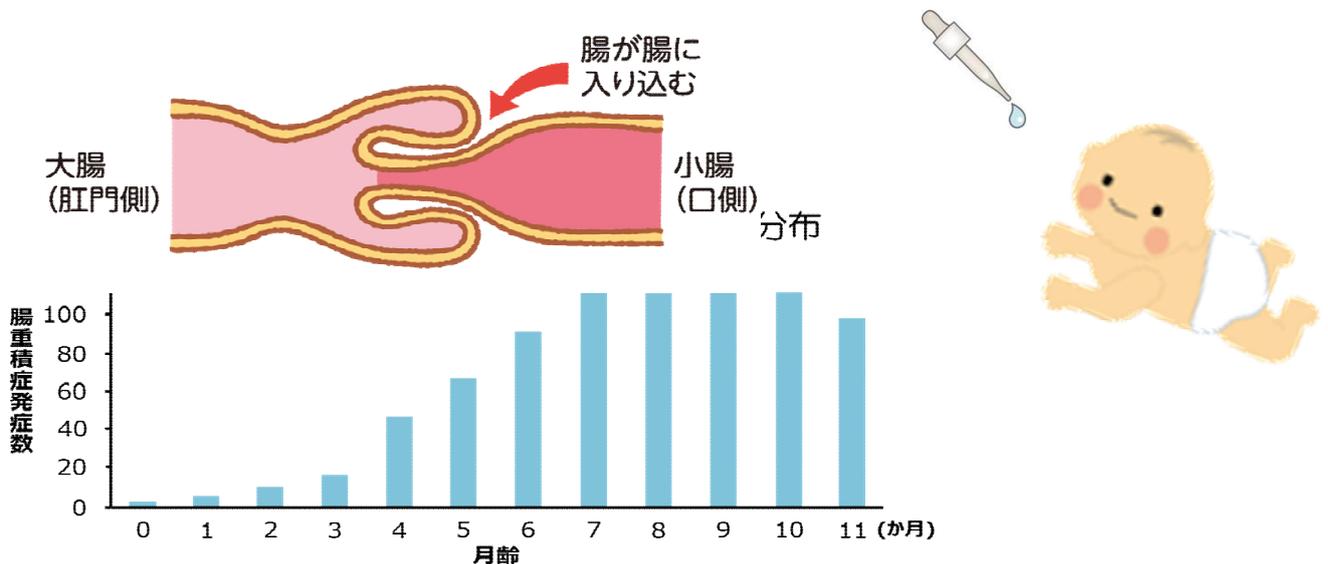
- ・接種直後は、医療機関で30分ほど様子を見てから帰宅してください。
- ・ワクチン接種後1週間ほどは、赤ちゃんの便の中にワクチンのウイルスが含まれることがあるため、おむつ交換の後などはいねいに手を洗ってください。
- ・高熱、けいれんなど、異常を感じた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。
- ・初回接種後1～2週間は、腸重積症の発症の可能性が高まるといわれています。以下のような症状が一つでも現れたら、腸重積症が疑われます。すみやかに医療機関を受診してください。

- 泣いたり不機嫌になったりを繰り返す
- 嘔吐を繰り返す
- ぐったりして顔色が悪くなる
- 血便がでる

⑦ 腸重積症（ちょうじゅうせきしょう）について

腸重積症とは、腸が腸に入り込み、閉塞状態になることです（下図）。

0歳児の場合、ロタウイルスワクチンを接種しなくても起こる可能性のある病気で、3～4か月頃から月齢が上がるにつれて多くなります（下のグラフ）。



腸重積症は、手術が必要になることもありますが、発症後、早く治療すれば、ほとんどの場合、手術をせずに治療できます。

R8.4.1

<お問い合わせ先>伊那市役所健康推進課予防係 電話 0265-78-4111 内線 2332